

## (2) 現行の支援システムと新しい支援システムとの違い

### ア システム構成の違い

C2Pでは業者にサーバーを設置し、通信方法としてインターネットを利用して運用していたが、新しい支援システムでは、厚生労働行政総合情報システム(WISH)内にサーバーを設置し、総合行政ネットワーク(LGWAN)等を利用した方法に変更する予定である。(別紙1、別紙2参照)

### イ 変更・データの移行について

平成23年3月末でC2Pが運用している現行の支援システムは終了することになるが、現在C2Pが運用している現行の支援システムに登録されているデータの移行については行わない予定である。

### ウ システムの表示内容について

政策指標等の表示内容については、レイアウト等が変わるものの大幅な変更は行わない予定である。

なお、システムから得られる具体的な各種政策指標や表示されるグラフ等については別紙3の例示を参照していただきたい。

## (3) 利用する都道府県及び市町村等での作業

利用する都道府県及び市町村は、申請作業等が必要となるため、別紙4の介護政策評価支援システム作業手順書を参照していただきたい。

#### (4) その他

##### ア 開発テスト

新しい支援システムについては、いくつかの都道府県、市町村等に対し、開発段階でのテスト参加を既にお願ひしている。テストに参加可能な場合には「イ 問い合わせ先」に連絡をいただきたい。

##### イ 問い合わせ先

厚生労働省老健局総務課

課長補佐 大野

電話：03-5253-1111（内3916）

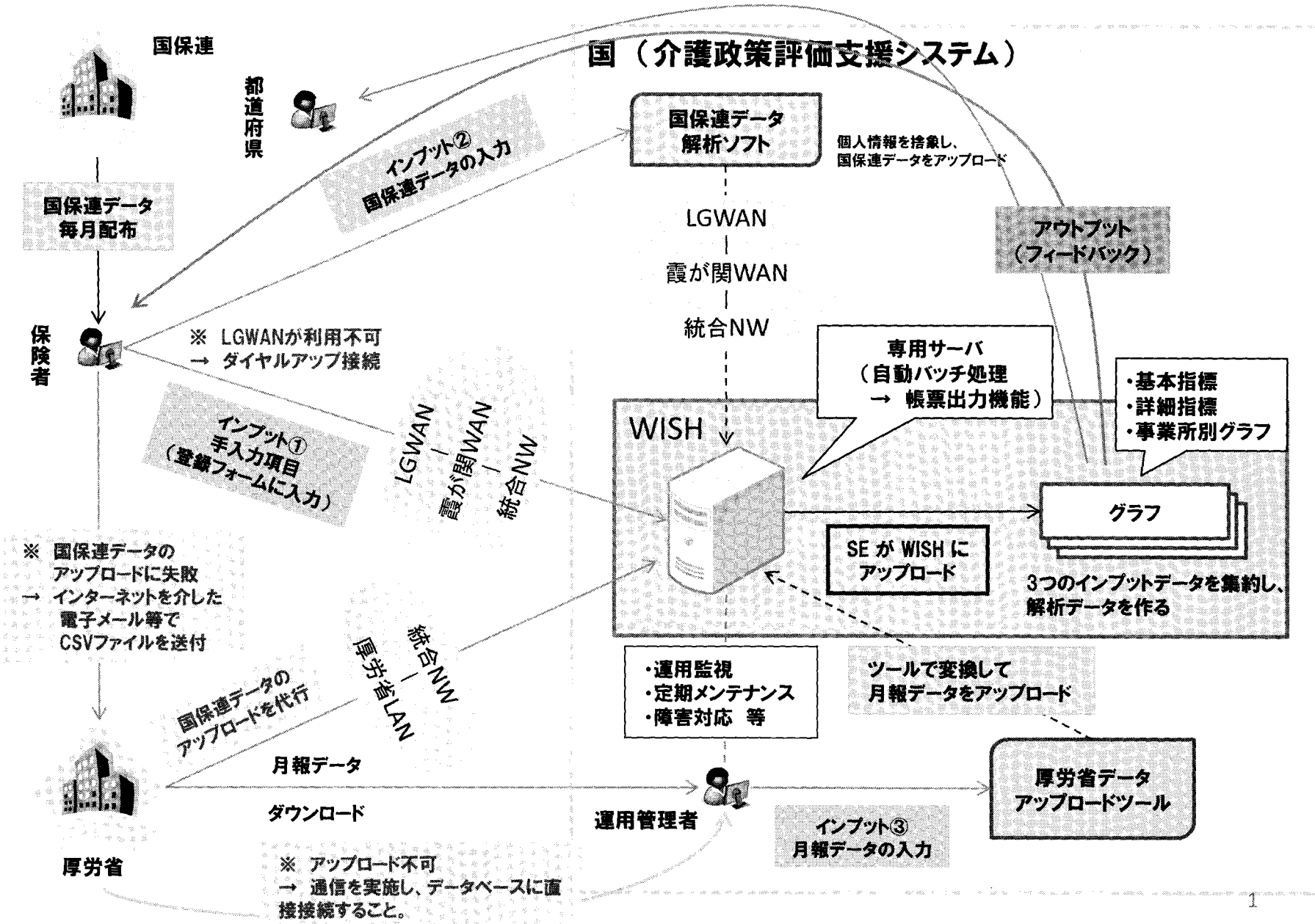
e-mail：kaigohyokasien@mhlw.go.jp

（e-mailでの問い合わせの場合、件名を「問合」とすること。）

なお、平成23年度以降のシステム開発後の保守、運用については、介護保険計画課計画係で行う予定となっている。

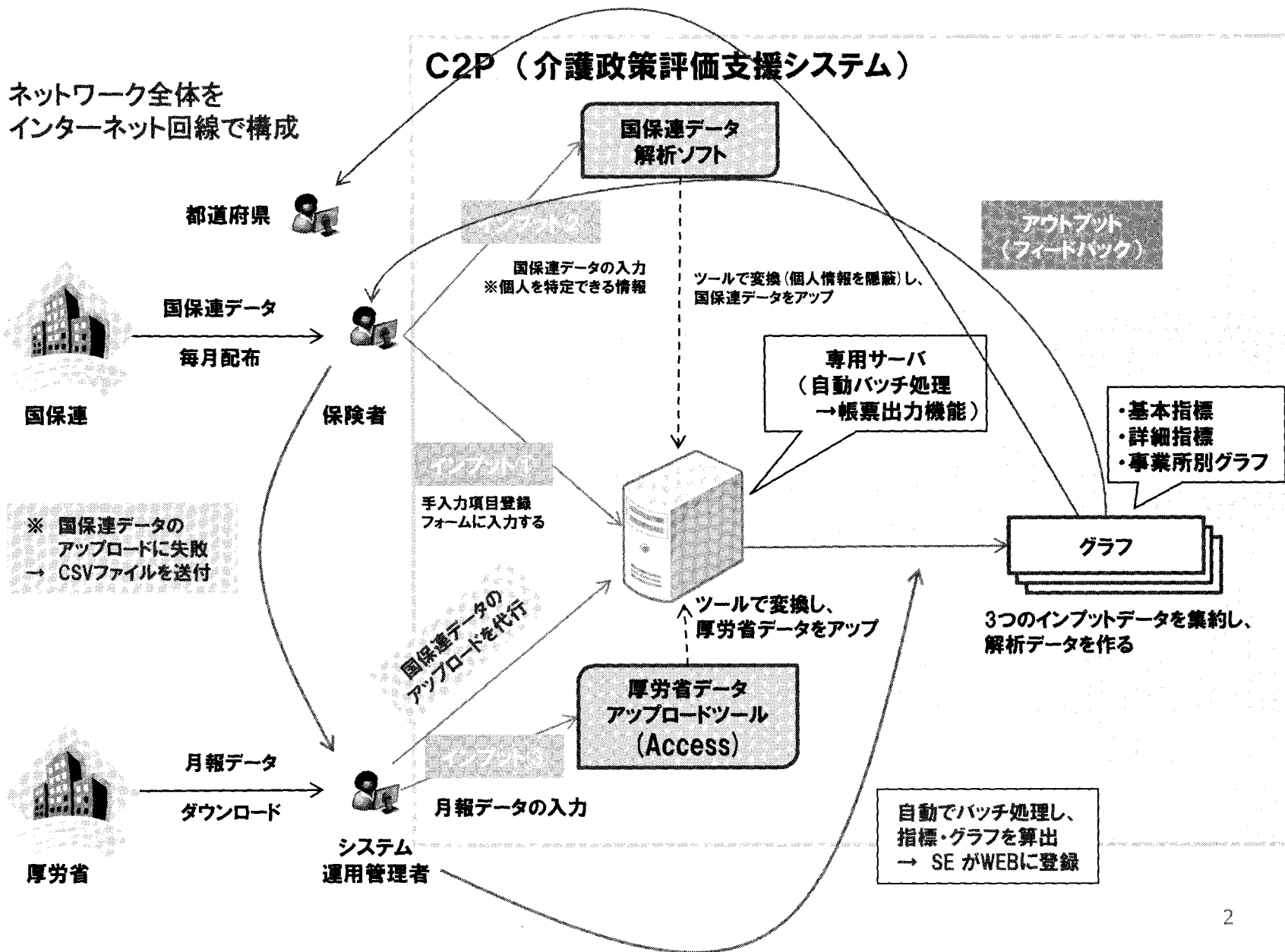
# 新・介護政策評価支援システムの概要図

(別紙1)

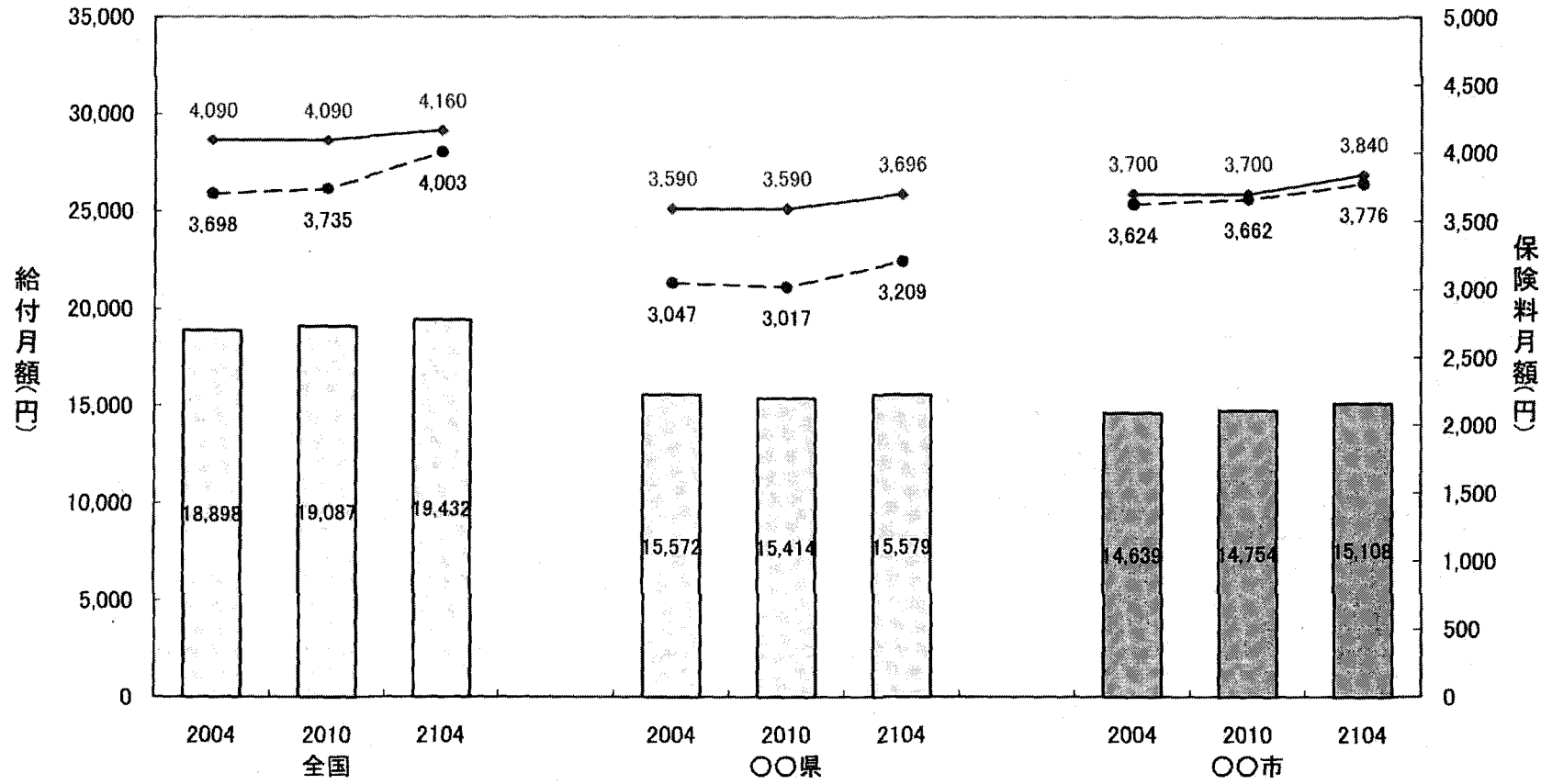


# 旧・介護政策評価支援システムの概要図

(別紙2)



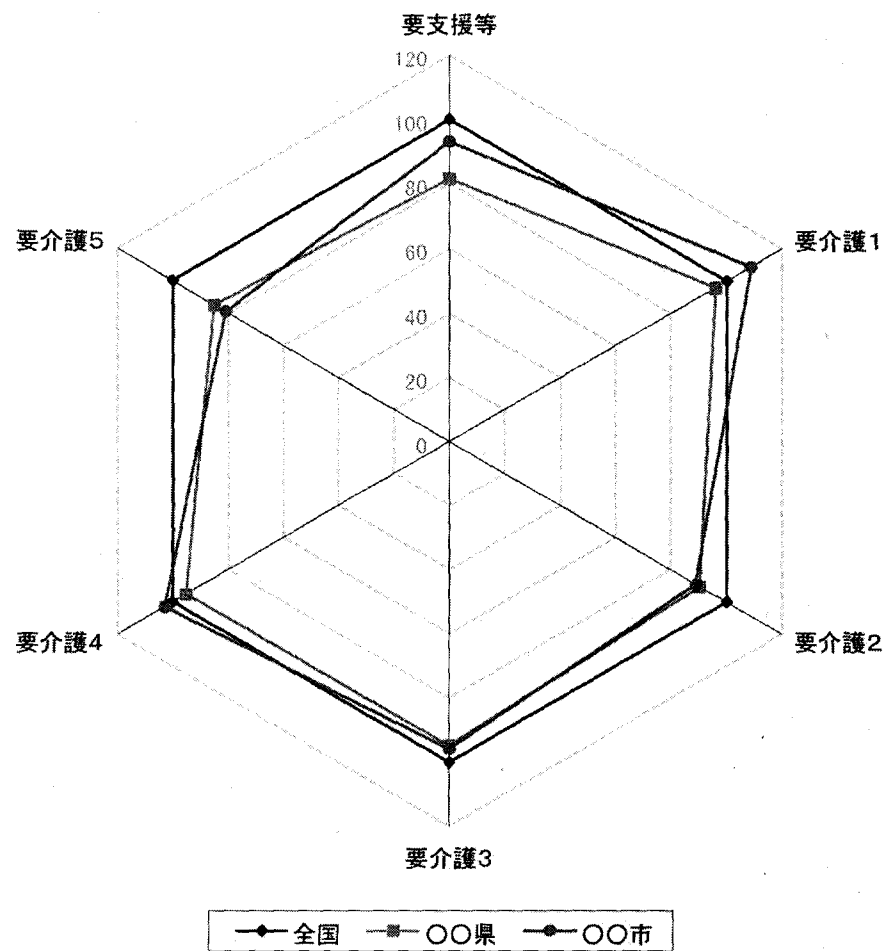
指標A 高齢者1人当たり保険給付月額・第1号保険料月額・必要保険料月額(平成21年04月)



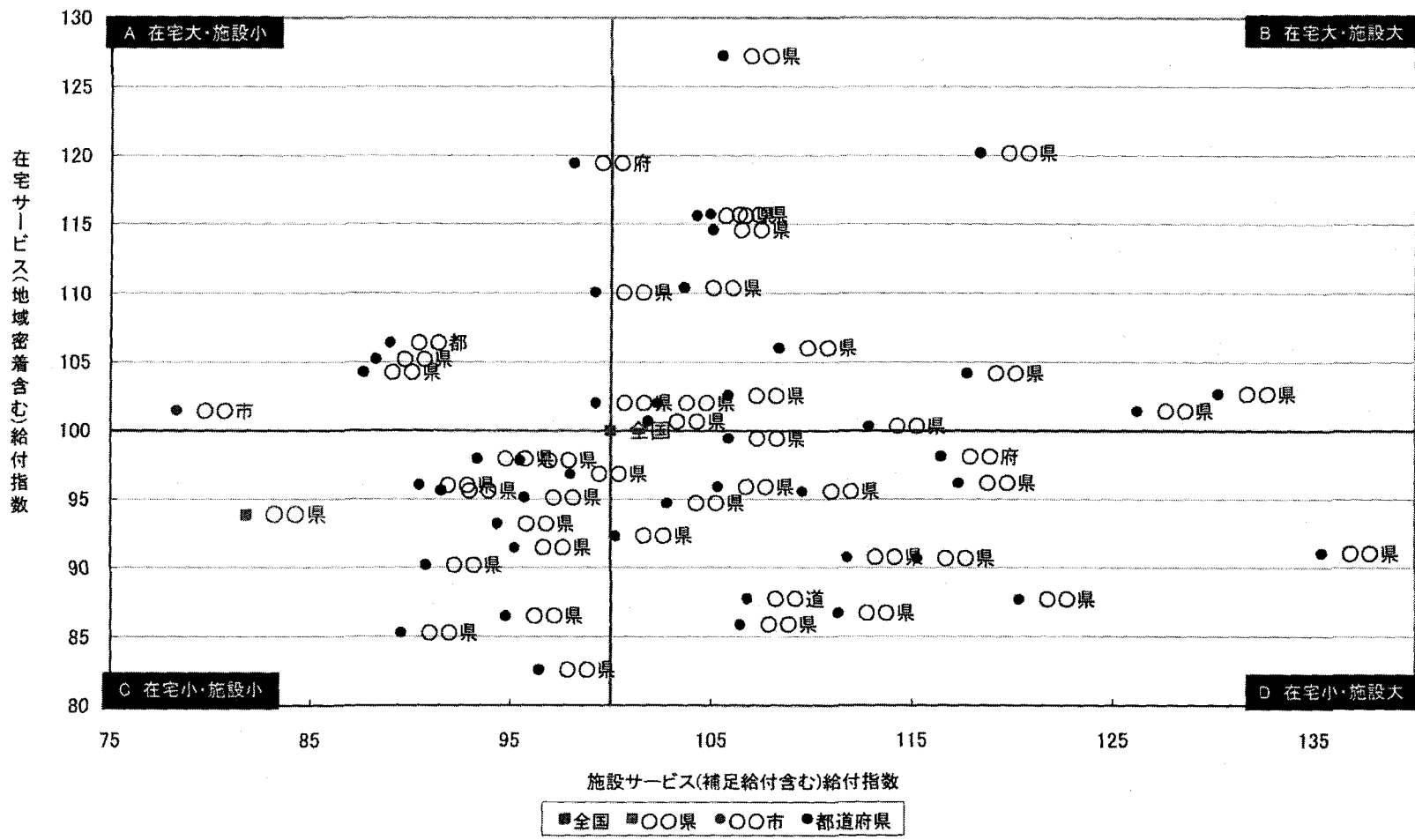
注1) 給付月額は大小月を勘案し、1ヶ月30.4日換算している  
 注2) 全国および都道府県の数値は、解析データダウンロード前日の集計値

高齢者1人当たり給付月額
  第1号保険料月額
  必要保険料月額

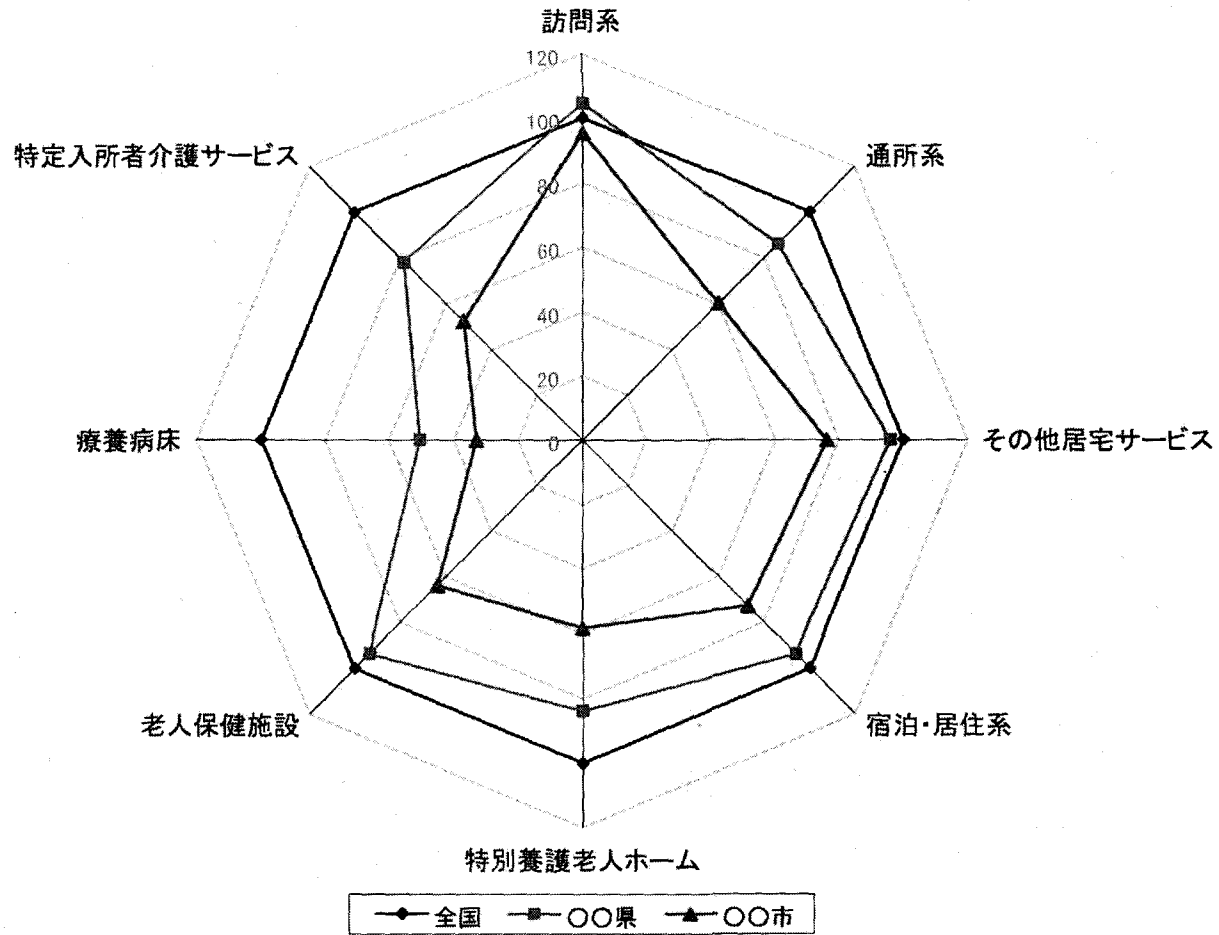
指標B 第1号被保険者の要介護度別認定率指数(全国平均=100)(平成21年04月)



指標C 高齢者1人当たり在宅サービス・施設サービス給付指数(平成21年04月)

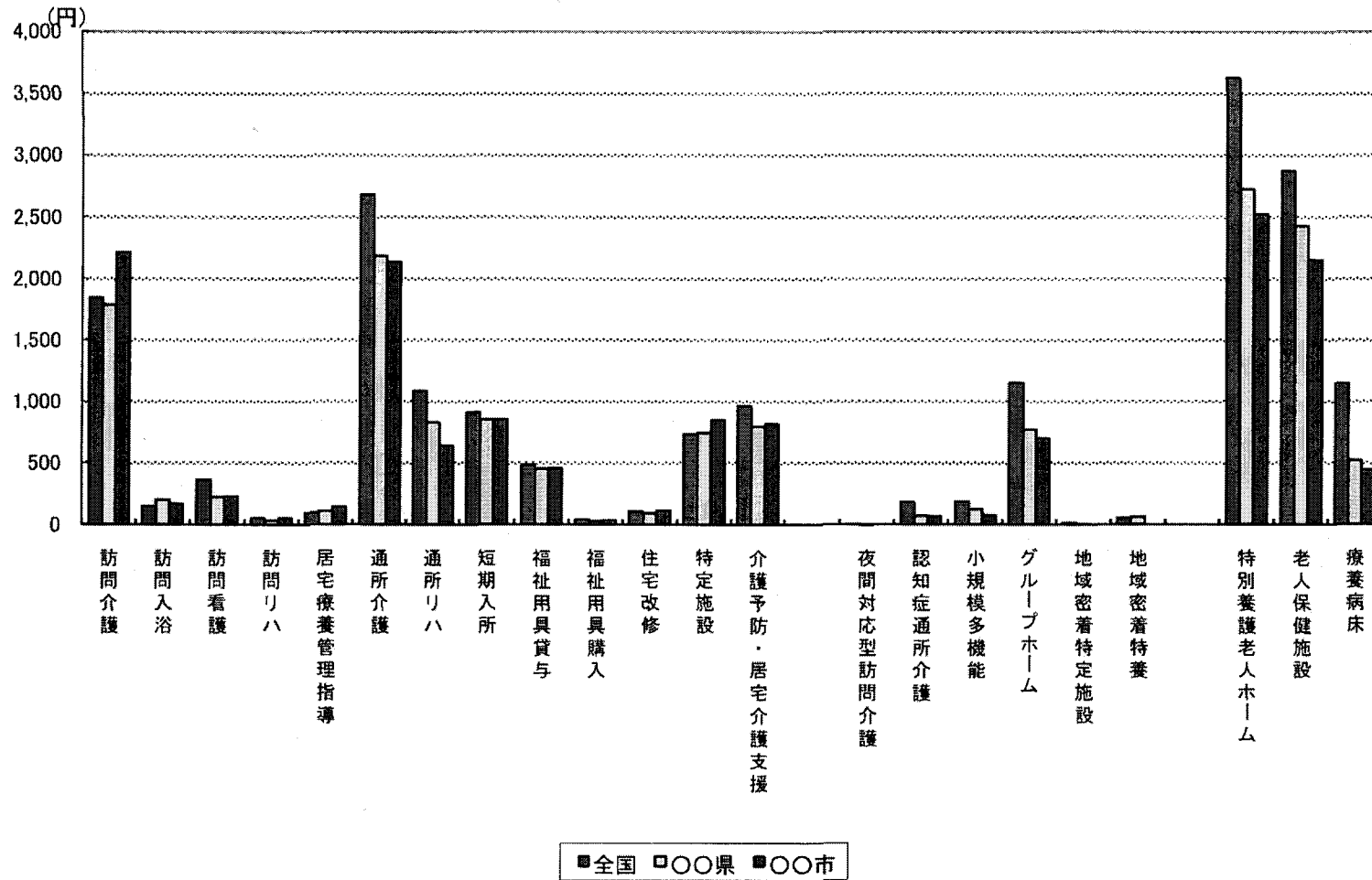


指標D サービス系列別高齢者1人当たり給付指数(平成21年04月)

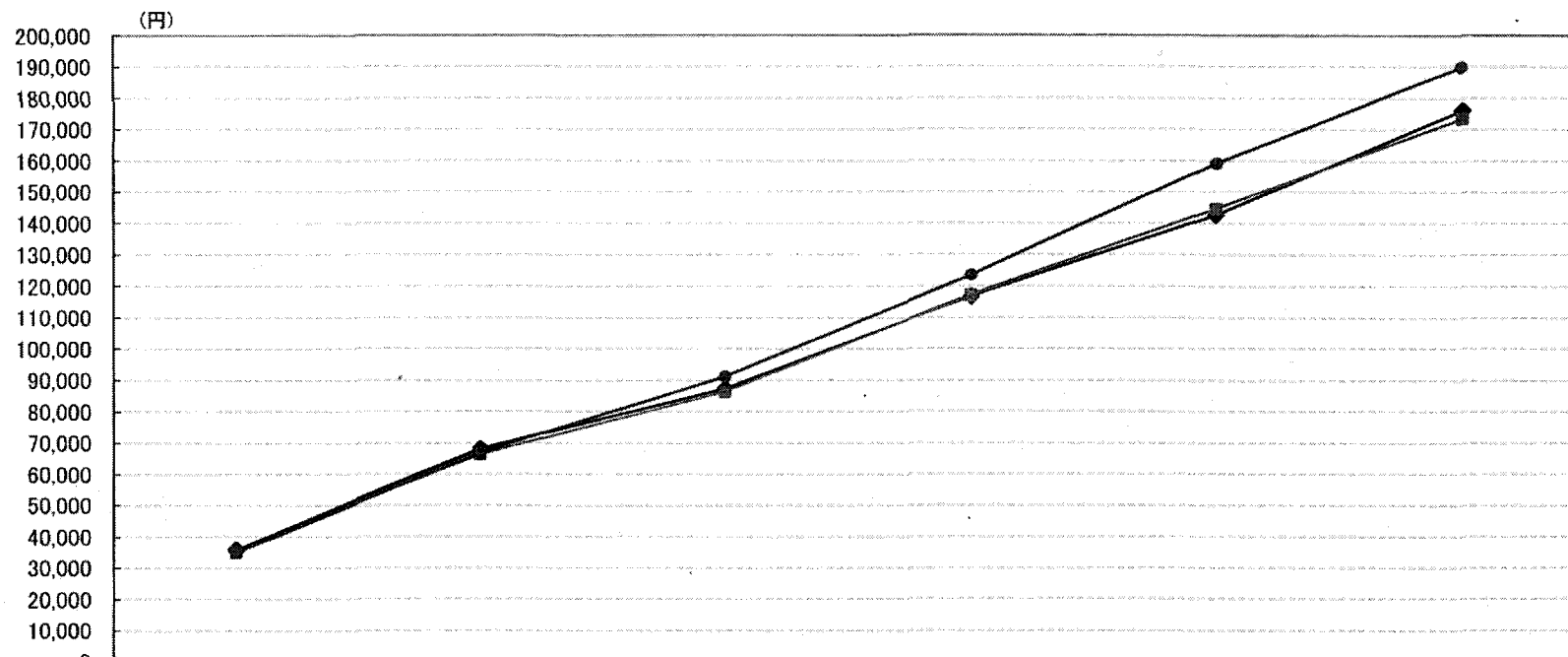




指標E サービス種類別高齢者1人当たり給付月額(平成21年04月)



指標F 要介護度別在宅サービス(地域密着含む)受給者1人当たり給付月額(平成21年04月)



	要支援等	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
◆ 全国	35,869	68,079	87,319	116,707	142,687	176,127
■ 〇〇県	34,952	66,295	86,255	117,114	144,618	173,477
● 〇〇市	35,228	66,978	91,126	123,494	159,088	189,826



指標H 要介護度別居宅サービス受給者の給付単位数分布(平成21年4月)(〇〇県〇〇市)

